

大分県における理学療法士 需要調査結果報告書 第 15 報

公益社団法人 大分県理学療法士協会

職能局 職能情報部

職能調査課課長 寺村 康

職能情報部部长 玉田 英寛

職能局担当理事 浅海 靖恵

職能局 局長 梅野 裕昭

【はじめに】

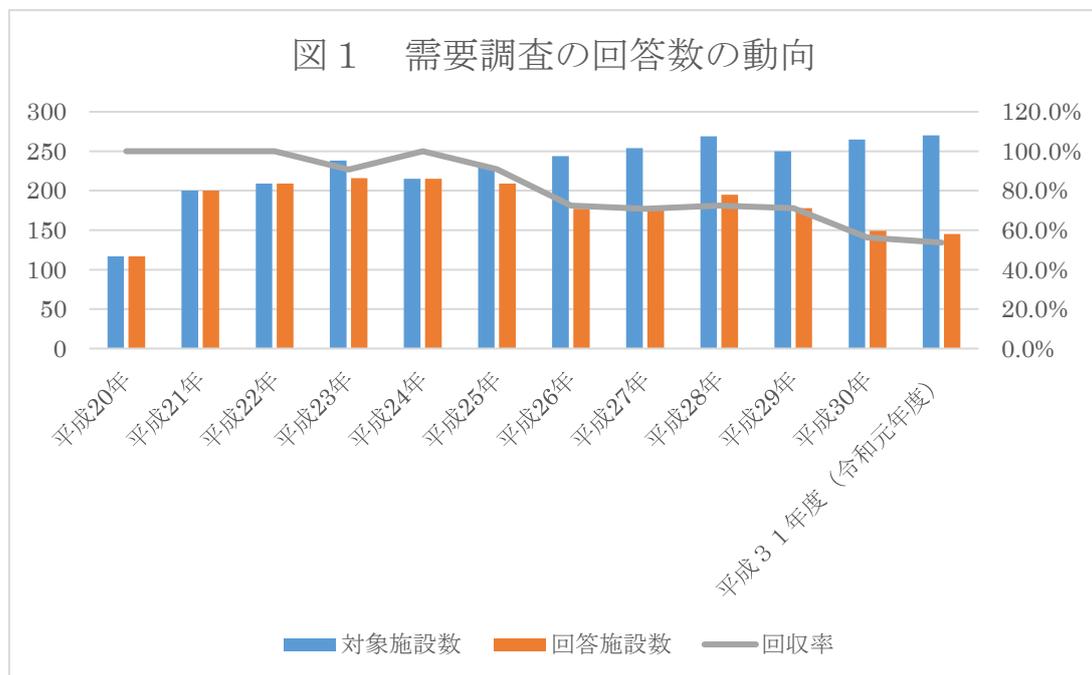
公益社団法人大分県理学療法士協会（以下、当会）職能局職能情報部では、10年以上に亘り大分県における理学療法士の需要および職域維持・拡大に関する資料作成の目的に県内の当会会員所属施設を対象に需要調査を行っている。平成31年度（令和元年度）の調査結果を以下に報告する。

【調査方法】

職能情報部で作成した質問紙を当会会員所属施設に郵送し、施設の代表理学療法士に回答を依頼し、FAXにて回収した。

【平成30年度調査結果】

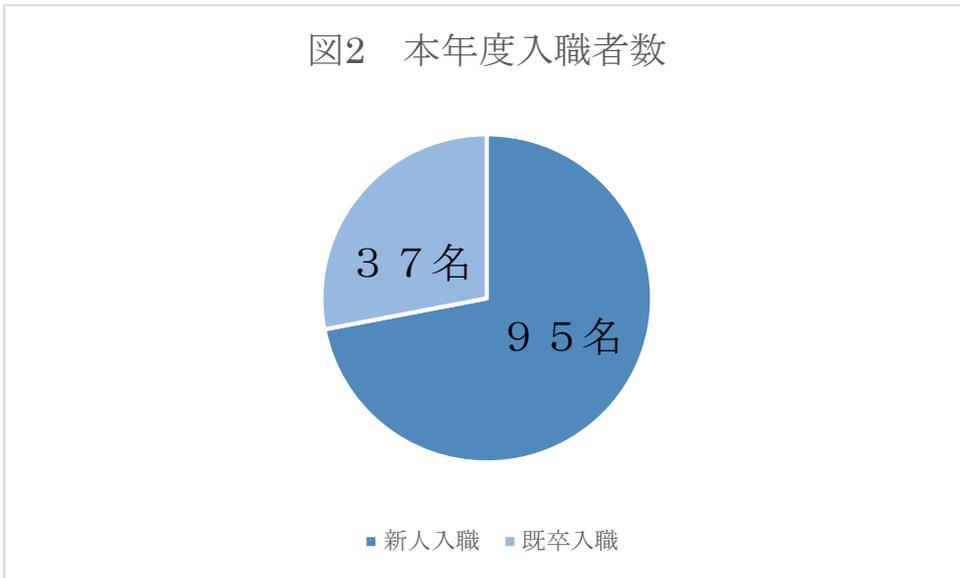
270施設中145施設から回答が得られ、回収率は53.7%であった。昨年度の回収率は56.2%であり2.5%減少した。図1は平成20年度調査以降のアンケートの回収率である。平成26年度から回収率が低下している。平成25年度まではFAXで回答が得られなかった施設に対して個別に電話連絡し回答を得ていたが、平成26年度より電話での回答を控えるようにした為である。



【需要調査】

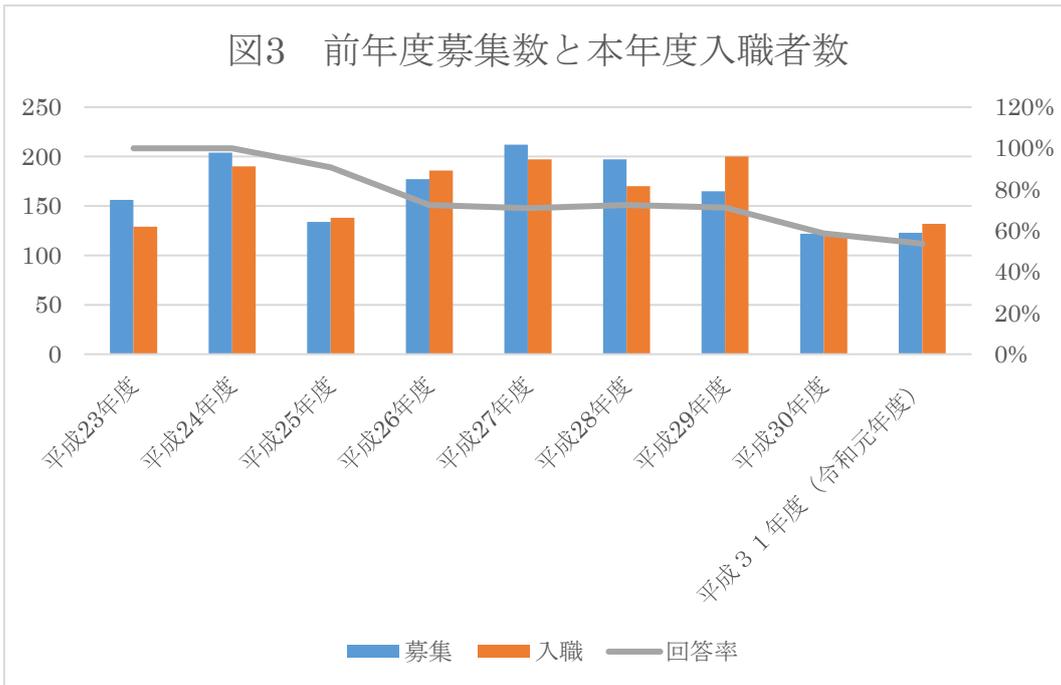
平成31年度の入職者数は132人であった。132人の新卒・既卒の内訳は図2に示す通りである。

図2 本年度入職者数



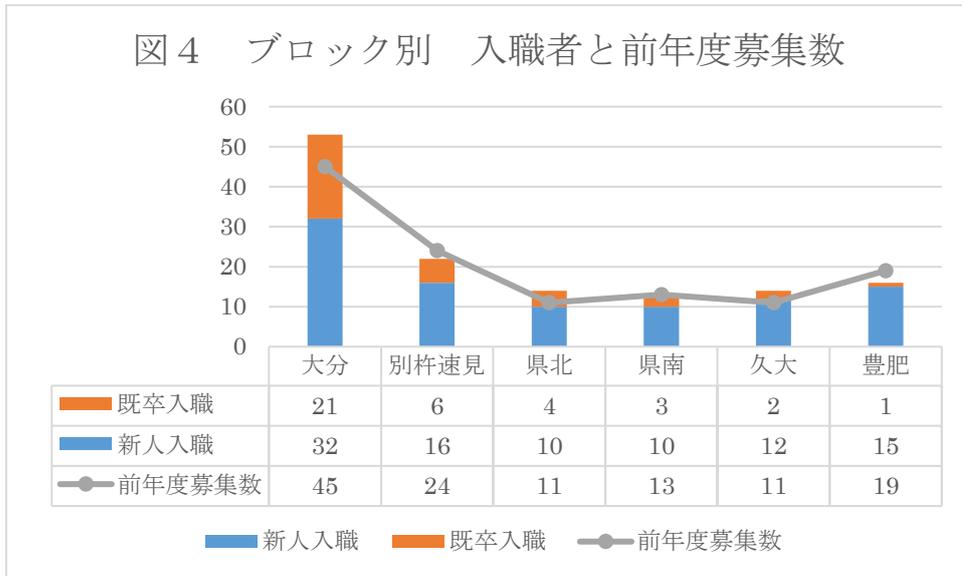
前年度求人数と入職者数の動向は図3に示す通りである。

図3 前年度募集数と本年度入職者数



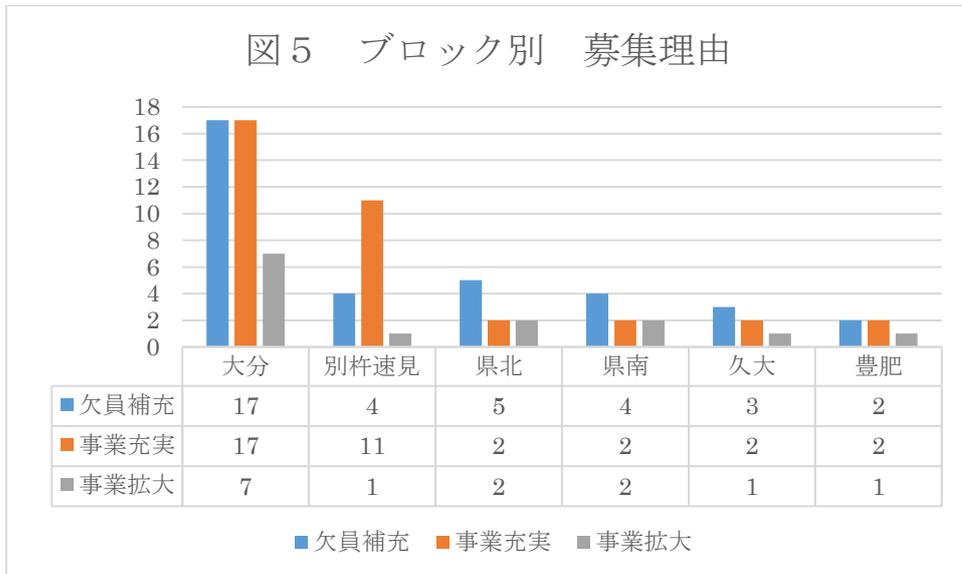
昨年度は入職者数が募集数を下回っていたが、今年度は募集数に対して入職者数が上回る結果となった。

図4 ブロック別 入職者と前年度募集数



ブロック別にみると大分、県北、県南、久大ブロックにおいては前年度募集数に対して同じもしくはそれ以上の入職者を認めた。別杵速見、豊肥ブロックにおいては前年度募集数を下回る入職者数であった。

図5 ブロック別 募集理由



募集理由は、欠員補充と事業充実としている施設が多い。

【まとめ】

- ①回答率は53.7%であった（145/270施設）。
- ②前年度募集数123名に対して今年度の入職者数132名とわずかではあったが上回る結果となった。
- ③ブロック別にみると会員所属施設の多い大分ブロックでの就職数が多い。別杵速見プロ

ック、豊肥ブロックにおいては入職者数が前年度募集した数を下回った。

【次回の調査予定】

次回調査は5年後の令和6年度に実施予定。